

農林水産大臣賞

山形県 ^{しらたかまち}白鷹町 ^{みやまごう}いきいき深山郷づくり 推進協議会

「深山生き生き行きたくなる郷」をめざして ~のどかな暮らしと風景づくり~

深山地区では、全戸が加入して構成する「いきいき深山郷づくり推進協議会」を立ち上げ、地区に残る自然や景観、伝統や技術、農業や食など、日常の暮らしに磨きをかけることで、その価値を高めるための活動を展開している。四季折々に移り変わる、気候・風景・食材・暮らしを活用しながら、住民が気持ち良く感じながら暮らし続けられる環境を整備し、その魅力や質の高さを外部に発信することで、深山の暮らしそのものをひとつの価値に変えていこうという活動である。

堤防や道路わきに季節ごとに花を植え込み、目に見える部分から環境整備をはじめ、集落や里山に埋もれた多くの石仏の調査復元、耕作放棄となったブドウ団地のワラビ園としての再生などの活動も行っている。県無形文化財「深山和紙」の工房周辺には、陶芸工房や平成13年にオープンした農家民宿「のどか村」などがあり、ここを拠点に深山の自然や暮らしの体感メニューを提供している。

活動から10年が経過した平成19年、それまでの経験と反省を基に、地区では初めてとなる女性や若者が中心となったワークショップを開催し、今後10年間の行動計画書を作成した。第2ステージでは5つの目標を掲げ、ひとつひとつ確実に実践している。



深山地区の日常の暮らしに磨きをかける



深山に伝わる技法で漉かれる和紙